

2018年6月8日

各所属長並びに関係の皆様

吃音講習会実行委員会  
顧問 牧野泰美  
(国立特別支援教育総合研究所)

## 子どものレジリエンスを育てる

### ～ どもる子どもとの対話 ～

#### 第7回 親、教師、言語聴覚士のための吃音講習会のご案内

##### 1 趣旨

2018年3月に文部科学省が出した「特別支援学校学習指導要領解説・自立活動編」の吃音に関する記述に、「吃音について学び、吃音をより客観的に捉えられるようにする」が挙げられています。

吃音について子どもたちが学び、知ることを、私たちは大切にしてきました。「怖かった どもりの勉強 するまでは」と、どもりカルタに書く子どもたちは、吃音について役に立つ知識を学び、吃音について対話をするを求めているといえるでしょう。

子どもと対話をする手がかりとして、私たちは『親、教師、言語聴覚士が使える吃音ワークブック』（解放出版社・2010年）を出版し、私たちのことばの教室の実践を紹介しました。

また、2012年の夏から、「親、教師、言語聴覚士のための吃音講習会」を開き、吃音ワークブックにあるワークをもとにした私たちの実践を通しての交流と新たな学びを続けてきました。

ことばの教室や言語指導室が、どもるために学校生活の中で苦戦している子どもたちにとって、楽しくほっとできる場、どもっても平気でしゃべれる場、自分の考えや気持ちを話し、それをしっかり聞いてもらえる場、クラスや家庭でのストレスを和らげる場であるという、子どもたちの安全基地であることは、最も基本となる一番に大切なことです。その上で、私たちは、子どもが吃音に向き合い、自分のことや自分の吃音のことを自分のことばで語ることや対話することに取り組んできました。

講習会では、私たちの実践<どもりキャラクター、どもりカルタ、吃音チェックリスト、言語関係図>などを実際に体験していただき、ことばの教室や言語指導室でどのように使うか、参加者と話し合いながらすすめます。ことばの教室を初めて担当する人、言語聴覚士として働き始めた人、これらのことを初めて聞く人にとっても、わかりやすいものになるようにその取り組みの理論的背景や歴史なども紹介します。また、どもる子どもの保護者にとっても、子どもと対話をする手がかりになればと考えています。子どもと何を話せばいいかを考えたい人にとって、子どもと不安を持たずに話すための理論的、技術的なことも一緒に学んでいきたいと思えます。

また、ゲストに、どもる若き消防士を招き、彼が面接試験や厳しい消防学校時代をどう乗り切り、日常業務でどもりながらどうサバイバルしているか、インタビューや参加者のグループでの話し合いを通して、彼のレジリエンス(回復力・逆境を生き抜く力)を探ります。

全国のことばの教室の担当者、関係する教師、言語聴覚士、保護者と一緒に、日ごろの取り組みを見つめ直し、新たな展望を開くために、熱く、楽しく、有意義な時間を作りましょう。

実行委員長 渡邊 美穂 (千葉県千葉市立院内小学校)

2 主催 吃音を生きる子どもに同行する教師・言語聴覚士の会  
NPO法人大阪スタタリングプロジェクト

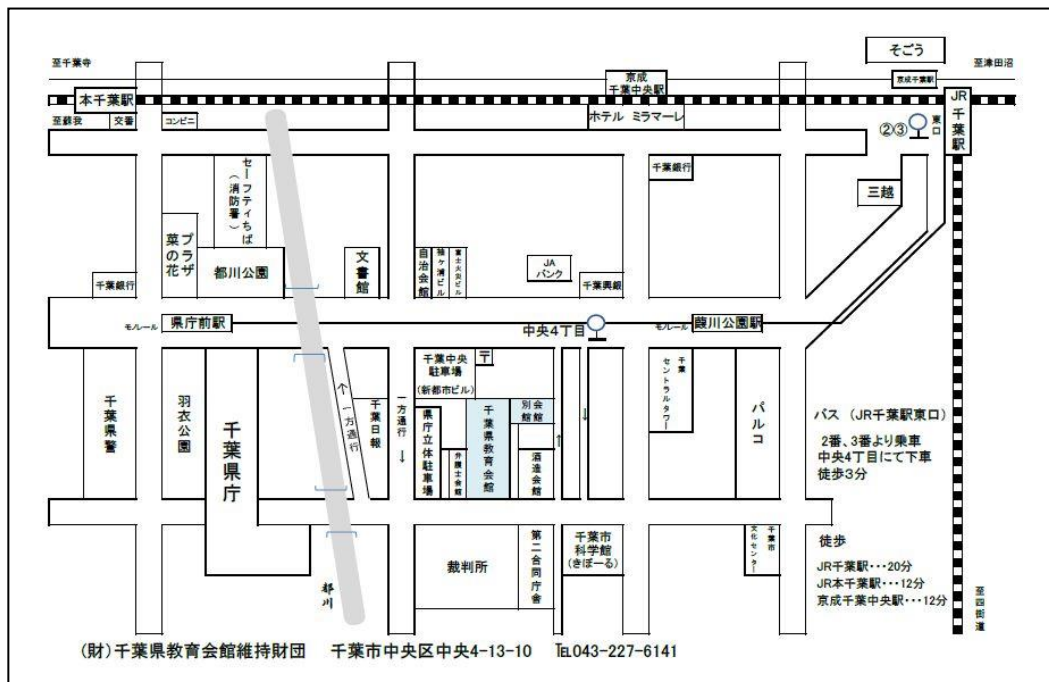
3 後援 NPO法人全国ことばを育む会  
千葉県ことばを育てる会  
千葉市ことばを育てる会

4 日時 2018年7月28日(土) 10:00～19:00  
29日(日) 9:20～16:45

- 5 会場 千葉県教育会館 本館604会議室  
〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4丁目13-10  
TEL 043-227-6141

## 6 アクセス

- 徒歩 JR線「千葉駅」から20分  
JR線「本千葉駅」から12分  
京成「京成千葉中央駅」から12分  
バス JR線「千葉駅東口」から2番、3番より乗車 中央4丁目にて下車 徒歩3分



## 7 内容・プログラム

7月28日(土)

9:30~10:00 受付

10:00~10:20 はじめの会(開会のあいさつ、自己紹介)

10:20~12:00 基調提案① 伊藤伸二・日本吃音臨床研究会

12:00~13:00 昼食

13:00~17:00 ことばの教室におけるどもる子どもとの対話の実践発表・演習

### ①どもりキャラクター

キャラクターを描いてみよう

キャラクター作りのきっかけ、手順、ことばかけなどの実践の紹介

どもりキャラクターの紹介

### ②どもりカルタ

どもりカルタとりに挑戦

気になった読み札の感想

どもりカルタの実践の紹介

### ③吃音チェックリスト

吃音チェックリストにチェックしてみよう

・担当している子どもをイメージしてチェック

・自分がちょっと苦手を感じていること、弱点などをどもりの代わりに入れてみる

グループで、吃音チェックリストを見ながら、感じたことを話し合う

大阪吃音教室での吃音チェックリストの講座の紹介

17:30～19:00 グループでの話し合い

19:15～ 懇親会（希望者のみ）

7月29日（日）

9:00～ 9:20 受付

9:20～10:20 基調提案② 牧野泰美・国立特別支援教育総合研究所上席総括研究員

10:30～12:30 インタビュー「若き消防士のレジリエンスを探る」

～面接試験・消防学校・日常業務～

解説 レジリエンスの7つの構成要素／ポジティブ心理学の強み

インタビュー／グループでの話し合い／全体でシェア

12:30～13:30 昼食

13:30～15:00 ことばの教室におけるどもる子どもとの対話の実践発表・演習

### ④言語関係図

言語関係図を描いてみよう

ブロックを使った実践の紹介

言語関係図を使って、子どもとの対話の実践

15:15～16:45 みんなで語ろう、ティーチン

## 8 講習会参加費 6,000円

### 懇親会のお知らせ

講習会1日目の終了後に、懇親会を企画しています。これまでの講習会でも、「この時間に本当にいろいろな話ができ」「日頃どもる子どもたちと関わる中で感じていることが、お互いに共感できた」「ちょっと悩んでいることへの解決の糸口が見つかった」などの感想が寄せられています。とても貴重で、素敵な出会いの場です。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしております。

なお、会費は講習会参加費とは別に、当日、3,500円を収集させていただきます。

## 9 参加申し込み方法

①必要事項を記入し、ハガキか封書で、郵送する。

②吃音講習会のホームページから、参加申込書をダウンロードして、必要事項を記入し、メールか封書で送る。

☆参加申し込みと同時に、郵便局より参加費を振り込んで下さい。郵便振替による入金後、当方で入金確認ができるまで4,5日を要します。

参加申し込み書と参加費の入金確認ができた時点で、正式参加申し込みとします。両方の確認ができましたら、受講票をお送りします。当日、受講票を受付でご提示下さい。なお、参加費は当日キャンセルされてもお返しできません。受講票は他の方にお譲り下さい。

なお、参加申し込み後、1週間程度経っても返信がない場合は、申し訳ありませんが、メールもし

くは電話で、再度ご連絡いただけますようお願いいたします。

**必要事項**…①名前（ふりがな）②所属名 ③自宅住所（郵便番号）④電話番号（あればFAXも）  
⑤メールアドレス ⑥懇親会参加の有無

**郵便振替** 加入者名：吃音講習会 口座番号：00960-0-282459

10 申し込み先 千葉県千葉市立花見川第三小学校 ことばの教室 黒田明志  
〒262-0046 千葉県千葉市花見川区花見川1-1  
Mail:kitsuon-kosyukai@live.jp

11 問い合わせ先 日本吃音臨床研究会  
〒572-0850 大阪府寝屋川市打上高塚町1-2-1526  
TEL/FAX 072-820-8244

## 12 宿泊その他

宿泊は、各自直接お申し込み下さい。千葉駅周辺には、たくさんホテルがあります。早めに宿泊の予約をされることをおすすめします。また、講習会中の食事に関しては、会場の千葉県教育会館から駅方面に向かうといくつか食事ができる所があります。また、お弁当やコンビニ等でお買い求めいただいたものを会場内で飲食することは可能です。

## 13 講師紹介

### 【講師】

#### ◇牧野 泰美 国立特別支援教育総合研究所上席総括研究員

専門は言語障害教育、言語獲得、コミュニケーション障害とその支援など。「全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会（全難言協）」をはじめ、各地の「きこえとことばの教室」の担当者や、親の会等と連携しながら、子どものことばやコミュニケーションへの支援の在り方、きこえとことばの教室の役割などについて研究活動を進める。

著書に、『言語障害のおともだち』（ミネルヴァ書房）、『基礎からわかる言語障害児教育』（学苑社）など。

#### ◇伊藤 伸二 日本吃音臨床研究会会長・国際吃音連盟顧問理事

21歳の時、セルフヘルプグループ言友会を創立。大阪教育大学専任講師（言語障害児教育）などを経て、現在伊藤伸二ことばの相談室主宰。第1回吃音問題研究国際大会を大会会長として開催し国際吃音連盟の礎を作る。論理療法、アサーティブ・トレーニング、竹内敏晴レッスン、認知行動療法などを活用し、吃音と上手につきあうことを探る。著書に、『両親指導の手引き書41 吃音とともに豊かに生きる』（NPO・法人全国ことばを育む会）、『吃音の当事者研究—どもる人がべてるの家と出会った』（金子書房）など。

### 吃音講習会のホームページを知っていますか？

これまでの講習会の報告、大会要項に載せた資料などご覧になれます。講師の先生方からの貴重な提案や、ことばの教室の実践報告、どもる当事者の方の声など、参考になる資料が満載です。ぜひご覧ください。

**どもる子どものレジリエンスを育てる  
一親、教師、言語聴覚士のための吃音講習会—  
アドレス：<http://www.kitsuonkosyukai.com/>**

